

## J-STAGE Dataでの論文データ公開について

日林誌では、研究成果の世界的な共有を目指したオープンサイエンスの推進に資するため、日林誌の論文 PDF を公開している J-STAGE が提供するデータリポジトリサービス「J-STAGE Data」を 2021 年度から利用することとなり、日林誌に掲載された論文執筆のもととなった研究データ（以下、「論文データ」とよびます。定義の詳細は後述します）をそこで公開することが可能となりました。論文データは論文本体とは別の DOI が付与されます。

J-STAGE Data での森林学会のサイトは <https://jstagedata.jst.go.jp/JJFS> です。

日林誌では、論文の電子的補助資料として電子付録をつけることも可能ですが、J-STAGE Data と電子付録には主に以下のような違いがあります（以下のサイトもご参照下さい：[https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub\\_JstageData\\_policy\\_for\\_members.pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub_JstageData_policy_for_members.pdf)）。

なお、同一の内容を両者で公開することは出来ません。

電子付録	J-STAGE の公開記事（日林誌論文）と切り離して、独立して引用できない補足資料（例えば、論文自体に掲載するほどの必要性はないものの、理解を助けるために有効な図表など）
J-STAGE Data	データ公開の国際的な基準と考えられている FAIR 原則（ <a href="https://biosciencedbc.jp/about-us/report/fair-data-principle/">https://biosciencedbc.jp/about-us/report/fair-data-principle/</a> ）に則り、J-STAGE の公開記事（日林誌論文）とは別に独立して引用できる、かつ研究コミュニティや第三者に向けての再利用可能なデータ（「3. 公開対象にできるデータ」をご参照下さい）

日林誌編集委員会としては、論文に他の研究者に利用頂きたいデータの公開には、まず J-STAGE Data の利用をおすすめします。

論文が受理されましたら、編集委員会の J-STAGE Data 担当より著者に論文データの公開の案内をお送りしますので、是非ご利用をご検討下さい。J-STAGE Data のご利用の検討にあたっては、当学会の「[データ公開の基本方針](#)」をご一読ください。そして、ご利用を希望する場合は、日林誌 J-STAGE Data 担当者（[jjfs@capj.or.jp](mailto:jjfs@capj.or.jp)）に、上記案内に返信する形で連絡してください。

なお、論文データを「J-STAGE Data」以外のデータリポジトリサーバーにて公開を検討されている（あるいは公開されている）方は投稿時に編集部までご相談ください。下記と同等な基準を満たしていれば、論文 PDF を公開している J-STAGE のウェブページにある Data Availability Statement に登録しデータリポジトリサーバーとの連携を行います。

以下では、J-STAGE Data での論文データの公開作業の進め方について説明いたします。

## 1. データ公開のメリット

日林誌の論文データを公開することのメリットとして、

- ・ 日林誌での論文掲載という限られた誌面では紹介しきれなかったデータを公開できる。
- ・ 資金配分機関が研究プロジェクトで得られたデータの公開を求めている場合に対応できる。
- ・ DOI が付与されてデータが公開されることで、国内外の論文における当該データの利用状況を包括的に把握できる。
- ・ 研究や情報交換のネットワークを広げられる可能性がある。
- ・ 機関によってはデータの公開自体が研究業績としてカウントされる。

などがあげられます（その他、第三者による論文の検証に用いられることもあります）。

## 2. データの帰属

J-STAGE Data にて公開された論文データは、森林学会や JST ではなく著者自身（あるいは著者の所属する機関のデータポリシーによっては所属機関）に帰属します。日林誌に掲載された論文は学会に著作権が譲渡されますが、論文データにはその扱いが適用されません。また、自身が著作権者でない論文データを公開する場合、著作権所有者に公開の承諾を得てください。

J-STAGE Data で公開された論文データは基本的にオープンアクセスとなります。データに設定された「ライセンス」の範囲内で誰でも自由に使用できます。ただし、一定の非公開期間を設けることもできます（ライセンスや非公開期間の設定については後述します）。

なお、データ公開の基本方針に示したとおり、日本森林学会では、公開されたデータの利用者がデータを用いて行う一切の行為について何ら責任を負うものではありません。

## 3. データの定義および公開対象となるデータ

研究に関係するデータは、以下のように整理されます。このうち、J-STAGE Data では論文データ、引用・集約した公表データ、電子付録では用いていない付図・付表やその汎用データが公開対象となります。これらは、自然科学・人文科学・社会科学上の価値を持つデータ、汎用的・長期的に利用できるデータと位置づけられるものです。

### ●公開の対象とはならないデータ

個人的なメモ、研究ノート、研究日誌、研究グループ内の打ち合わせ議事録、一時的な情報、有体物（試料、標本、作品・収蔵品など）など。

●リポジトリで公開対象となりうるデータ（以降、「研究データ」とよびます）

- ・ 調査・観測・実験で得られた形式の整ったデータ（ソースデータ）
- ・ ソースデータから派生して作成されたデータ（派生データ）
- ・ 論文の根拠となるデータや研究成果として最終的に得られたデータ（根拠データ）
- ・ 新たに開発した 調査・観測・実験・分析手法、使用した器機・環境等の説明資料（動画・画像）
- ・ 新たに作成し用いられたデータベース、データベース管理システム、分析・可視化ソフトウェア、計算用のソースコード、プログラム、機械学習アルゴリズム等

○研究データのうち **J-STAGE Data** で公開できる「論文データ」

- ・ 調査・観測・実験・分析で得られた数値等を表などの一般的な形式でまとめ、論文作成時に参照したデータ
- ・ 論文作成時に参照した、あるいは論文に掲載した写真、グラフ、静止画像、動画など
- ・ 論文で発表したソフトウェアのコードや実験・解析・調査のプロトコルなど

このように、論文データの種類は多岐にわたっています。論文で用いられた論文データのうち、どれを公開し、どれは公開せずにおくかは、著者自身に選んでいただきます。

○公表されているデータを引用・集約したのも **J-STAGE Data** で公開可能

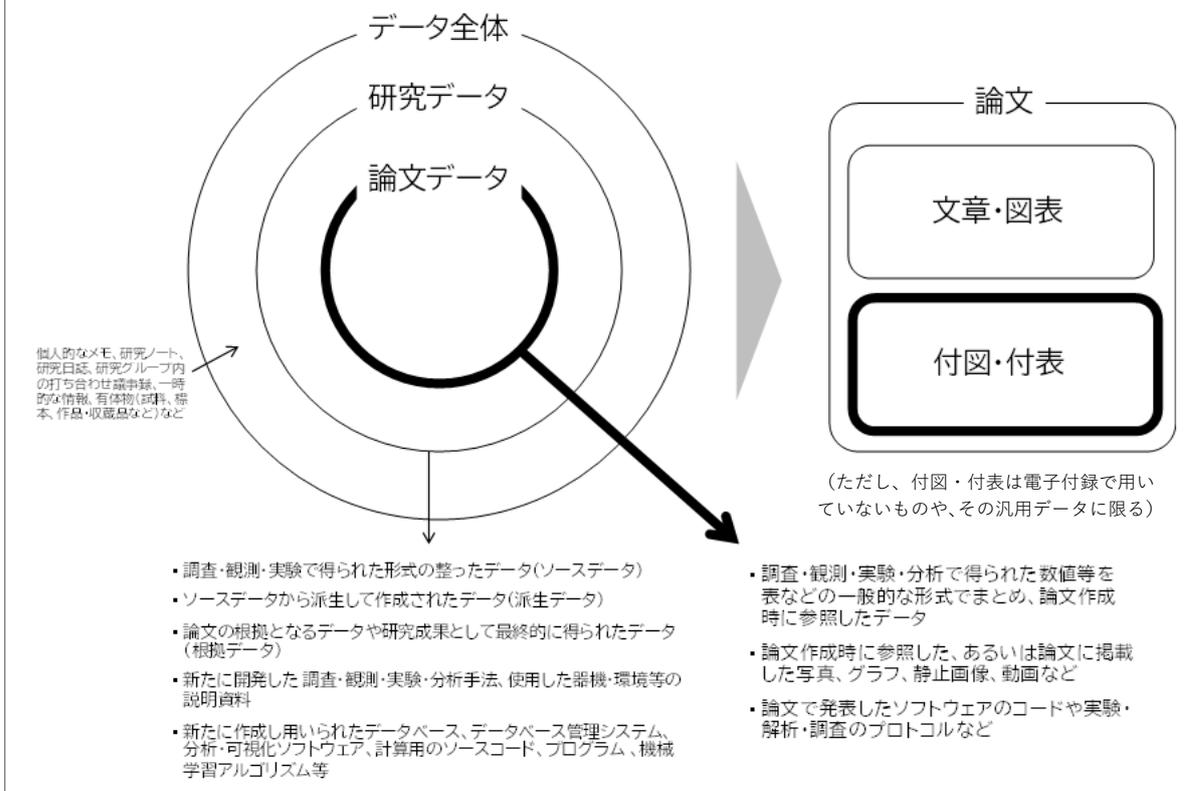
次頁の図には記載していませんが、既往論文や公刊図書等に示された数値情報・国や自治体等が公表している資料の数値を引用・利用し、著者がそれらを解析用に集約・整理して作図・作表などに用いられた場合、その集約・整理された情報も公開できる対象に含まれます。公開する場合は、論文データのメタデータ（後述）か、論文データの本体に元の資料情報（文献情報、掲載 URL など）を示していただくこととなります。

なお、これは著作権法における「引用」に該当するもので、元の論文・公刊図書・資料の著作権者の許諾は不要です。

○電子付録の付図・付表も形式を調整の上で **J-STAGE Data** で公開可能

論文のもととなったデータのほか、論文本体の一部とも言える電子付録の付図・付表についても、第三者が利用可能な汎用データと位置づけることができれば、**J-STAGE Data** での公開も可能です。ただし、同一の内容を両方で公開することは出来ません。また、**J-STAGE Data** で公開するファイルは形式を調整していただく場合があります。P5 もご参照下さい。

## 研究に関するデータの区分の整理 太線部がJ-STAGE Dataでの公開対象です



## 4. 事前の確認作業

論文データの公開を希望される場合、以下に該当するものが存在し、かつその中にデータ公開に関連する部分が記載されているかどうかをご確認ください。

- ・ 所属する大学・機関のデータポリシー等
- ・ 共著者との申し合わせ事項
- ・ 共同研究の契約の内容
- ・ 当該研究プロジェクトの資金配分機関がデータ公開について示している指針等
- ・ 当該研究プロジェクトの資金配分機関に提出されたデータマネジメントプラン

上記において、データの公開条件、公開可能なデータの範囲、一定期間非公開とする場合の期間(エンバーゴ期間といいます)などが規定されている場合、それらに準拠していただくこととなります。

## 5. データの準備

以上の確認を終えたら、論文データのうち公開されるものを以下の要領で電子ファイルにて用意します。

### ●データ本体

- ・ 1 ファイルあたり最大で 5GB
- ・ データの入力には半角英数字を使用してください。J-STAGE Data で公開するデータは国外からもダウンロードされて利用される前提です。  
ただし、英和併記も可能です。
  - 例1：生物名に学名（半角英数字）と和名（全角文字）の両方を示す
  - 例2：表形式データの1行目の英語標記の見出しに和訳を括弧に入れて添える
- ・ ファイル名は半角のアルファベットや数値等のみ使用可。全角文字や半角カタカナは不可。
- ・ 特定アプリケーションに依存しない形式（csv、kml、jpg、mp4 など。およびそれらを束ねた zip など）としてください。分野によっては、その分野において標準とされている形式を使用してください（たとえばゲノム情報など）。なお、J-STAGE Data のデータプレビュー機能を活かすため、なるべく zip 等に圧縮せずにアップロードされることをお勧めしています。
- ・ 最も一般的なデータ形式である表形式（csv 等）でデータを用意される場合は、2020 年 12 月 18 日に総務省統計局が発表した「統計表における機械判読可能なデータの表記方法の統一ルール」を必ず参考にしてください\*。 [https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000723626.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000723626.pdf) にて閲覧可能です。
  - \* 政府統計の表に関するものですが研究データにもあてはまる内容です。
- ・ テキスト形式のデータ（csv、html など）の文字コードとしては utf-8 をお使いください（shift-JIS 等のファイルだと J-STAGE Data のデータプレビュー画面において文字化けすることが確認されています）。
  - \* utf-8 以外を用いたテキストファイルの場合、メモ帳などのテキストエディタでファイルを開き文字コードとして utf-8 を選択して保存する等により、ファイルの文字コードを変換することができます。
  - \* エクセルから csv を作成する場合は、保存メニューでファイルの種類を「CSV UTF-8 (コンマ区切り) (\*.csv)」とすると、utf-8 の csv を作成できます。
- ・ その他に機関ごとのデータポリシー等で規定されている方針があれば、それに準拠してください。
- ・ 論文の電子付録の付図・付表を J-STAGE Data で公開する場合は、上記のデータの仕様になるようファイルを調整してください。特に付図がグラフである場合、グラフのままでは掲載できない場合が多いのでご留意下さい。

## ●アイコンとなる画像（必須ではないが推奨）

たとえば、データ本体（たとえば表形式の c s v ファイル等）を 1 つ公開した場合、J-STAGE Data の画面には、



という無味乾燥なアイコンが表示され、これをクリックすることでデータの説明やダウンロードの画面に移ります。

しかし、データ本体の前に、画像（研究の全体像を表す概念図、代表的なグラフ、調査地の写真など）も公開対象に含めておくと、その画像がアイコンとして使われます（具体的な例は J-STAGE Data のサイトをご参照ください）。

画像は必須ではありませんが、データがより人目を引き、より利用されるために、含めることを推奨いたします。

## ●内容面での注意事項

- ・ 分野や研究コミュニティの慣習等で公開が制限される情報はデータから削除する（例：絶滅危惧種の生息場所が特定できるような情報）
- ・ 個人情報（個人が識別される情報や個人の財産の情報）はデータから削除する
- ・ 企業や自治体が識別される情報についても、必要に応じ、個人情報に準じて扱う
- ・ 国際交渉関連、防衛機密など国家安全保障や国際関係などに係る機微情報はデータから削除する
- ・ その他に機関ごとのデータポリシー等で規定されている方針があればそれに準拠してください。

## ●データに設定するライセンス

論文データに設定するライセンス（第三者によるデータの利用条件）を決めていただきます。森林学会としてはクリエイティブ・コモンズ (CC) 4.0\*の CC BY-NC-ND（公開された論文データを使用する場合は非営利目的に限定し、改変は認めず、成果を発表するときはクレジットを明記する）を標準としております。

データアップロードの際のメタデータの（次項参照）入力画面ではデフォルトで CC BY となっていますので、手動で CC BY-NC-ND を選択してください。なお、所属機関のデータポリシー等で他の条件が推奨されている場合は、それに該当するライセンスに変更していただいて構いません（たいていの利用条件は CC に置き換えることができます）。

\* CC ライセンスの詳細については、<https://creativecommons.jp/licenses/> をご参照ください。また、ネッ

ト上にわかりやすい解説もあります（例  
[https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub\\_20181031Seminar02.pdf](https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub_20181031Seminar02.pdf)）。

## ●メタデータ

メタデータとはデータの「取扱説明書」のようなものです。いくつか必須項目がありますが、以下のものについては、新たに著者に用意していただくこととなります。

- ・ 論文データのタイトル（英語） ※ 論文のタイトルとは別のものを用意。データのタイトルのみを見ただけで、そのデータがどのようなデータであるのかが分かる必要があります。基となる日林誌論文のタイトルをデータのタイトルに含める必要はありません。タイトルでは、基の論文のタイトルとは離れて、データの中身を具体的に記載するようにして下さい。
  - ・ 論文データの概要説明（英語。半角 5000 字以内）。以下の要領でご記入ください。
    - (1) お手数ですが、論文の abstract とは別に作成してください。
    - (2) 複数のファイルを公開する場合は、本欄にて各ファイルの説明を記載してください。
    - (3) 半角 5000 字以内で十分に説明できない場合には ”Please see the manuscript for more detail.” などの一文を用い、元の論文を参照させる形で記述を一部簡略化することでご対応ください。
    - (4) 野外調査のデータの場合、なるべく調査地の緯度・経度の情報もご記載ください。日本人には地名だけで伝わる場合が多いのですが、J-STAGE Data は国際的なデータベースなので、位置情報がわかる方がユーザーにとっての利便性が高まります。
  - ・ キーワード（英語） ※論文のキーワードとは必ずしも同じでなくても構いません
  - ・ メタデータに J-STAGE Data のファイルの基となる日林誌論文を説明・引用する際は、以下の例を参考にして下さい：
    - ①  
Consists of eqs. (1)-(5) in RELATED MATERIALS 1.  
RELATED MATERIALS 1.の eqs. (1)-(5)からなる
    - ②  
Please see RELATED MATERIALS 1 for more detail.  
詳細については RELATED MATERIALS 1.を参照して下さい
- 注：RELATED MATERIALS 1 は基の日林誌論文。J-STAGE Data で公開された際、RELATED MATERIALS 1 は基の日林誌論文のタイトルが画面に別途表示される。
- ・ 英語メタデータ項目で HTML タグは使用できますが、日本語メタデータ項目では使用

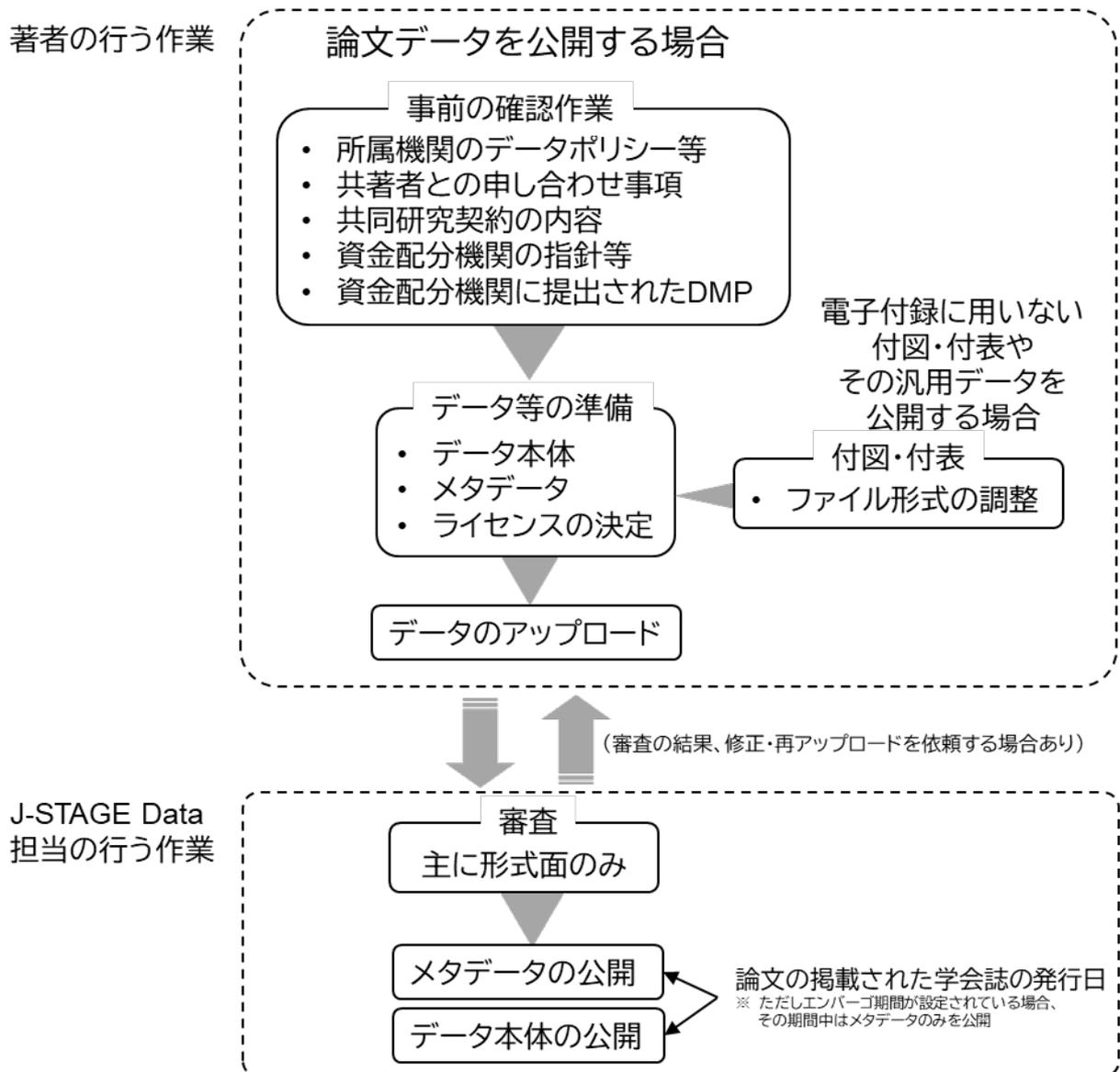
できません。

- ・ 研究資金提供機関の研究ファンド名を記入する必要がある場合は、その英語表記。なお、科研費および JST のプロジェクトについては、課題番号のみの入力で適切に変換される仕様となっているので、その番号を入力し、提示された候補から選択してください。
- ・ エンバーゴ期間を設ける場合、公開予定の日時の決定、およびデータを一定期間非公開とする理由の文章（英語）

データの審査時に著者に差し戻すこともあり、その際はメタデータを再入力していただくこととなりますので、メタデータは別ファイルにまとめて別途お手元に保存しておくことを推奨いたします。

#### ●コピーライト

「© 著作権者名(英語)」を記載してください。公開するデータについて、自身が著作権者でない場合は、著作権者に対象のデータを J-STAGE Data から公開する、つまり、CC BY を付与してオープンアクセスとして公開することを、著作権者から許諾を得てください。



## 6. データのアップロード

以上の準備が完了後、日林誌 J-STAGE Data 担当者 (jjfs@capj.or.jp) に連絡してください。なお、エンバーゴ期間を設けるデータの場合、前項で決めていただいたメタデータのうち、公開日時およびデータを非公開とする理由の文章もその際に同時にお知らせください（メール本文へのベタ打ちで結構です）。これは、非公開の設定の入力作業は著者によるデータのアップロード後に担当者がエンバーゴ期間を設定する作業を行うためです。

上記のご連絡をいただいたら、日林誌 J-STAGE Data 担当編集委員から折返し論文データをアップロードするリンク、ログイン情報、および作業手順を知らせます。それに従って著者にデータをアップロードしていただきます。

## 7. データの審査

アップロードされたデータは、J-STAGE Data 担当編集委員により、メタデータの入力内容及びデータ本体の形式面が審査されます。データ本体の内容面については、著作権者（著者または機関）の責任においてアップロード前に確認していただくこととなります。何か問題が見られ、かつ J-STAGE Data 担当編集委員では修正が難しい場合は、著者による修正対応後、再アップロードしていただきます。

## 8. 公開のスケジュール

現在、日林誌で受理された論文は原則として以下のスケジュールにより発行されます。（特集号の原稿の場合、その特集の原稿がすべて受理された後、掲載号が発行されることとなります）

11 月下旬前の受理 → 12 月中旬校了 → 1 号に掲載(1 月)、論文 PDF オンライン公開

12 月中旬前の受理 → 1 月上旬校了 → 2 号に掲載(2 月)、論文 PDF オンライン公開

1 月中旬前の受理 → 2 月上旬校了 → 3 号に掲載(3 月)、論文 PDF オンライン公開

2 月中旬前の受理 → 3 月上旬校了 → 4 号に掲載(4 月)、論文 PDF オンライン公開

3 月中旬前の受理 → 4 月上旬校了 → 5 号に掲載(5 月)、論文 PDF オンライン公開

4 月下旬前の受理 → 5 月中旬校了 → 6 号に掲載(6 月)→論文 PDF オンライン公開

5 月下旬前の受理 → 6 月中旬校了 → 7 号に掲載(7 月)、論文 PDF オンライン公開

6 月下旬前の受理 → 7 月中旬校了 → 8 号に掲載(8 月)、論文 PDF オンライン公開

7 月中旬前の受理 → 8 月上旬校了 → 9 号に掲載(9 月)、論文 PDF オンライン公開

8 月下旬前の受理 → 9 月中旬校了 → 10 号に掲載(10 月)、論文 PDF オンライン公開

9 月下旬前の受理 → 10 月中旬校了→11 号に掲載(11 月)、論文 PDF オンライン公開

10 月下旬前の受理 → 11 月中旬校了→12 号に掲載(12 月)、論文 PDF オンライン公開

そして、論文データの公開スケジュールは以下のようになります。

### ●エンバーゴ期間が設定されていない場合

論文掲載号の発行日 → 論文データのメタデータと本体を同時公開

### ●エンバーゴ期間が設定されている場合

論文掲載号の発行日 → 論文データのメタデータのみを公開

設定された公開日 → 論文データの本体を公開

なお、アップロード作業が論文のオンライン公開よりも後になった場合、アップロード後に論文データのメタデータのみが公開され、設定された公開日に論文データの本体が公開されます。

## 9. 分野別リポジトリに搭載されているデータに関して

完全なオリジナルデータではなく、外部サーバーの分野別リポジトリ等に搭載されているデータ（例えばゲノム情報など）の一部をダウンロード・解析して著者が論文を発表され、かつ、そのデータに DOI が付与されていない場合、当該データについて、そのリポジトリへのリンク情報を J-STAGE Data に搭載して DOI を付与することができます。

この作業は日林誌 J-STAGE Data 担当者が行うこととなります。論文のデータ公開を希望することをお知らせいただくメールにおいて、分野別リポジトリのデータの公開についてもご記入ください（詳細は案内メールに記載します）。

## 10. データの追加・修正

データの公開後、そのデータに追加や修正をする場合は、日林誌 J-STAGE Data 担当者へ連絡をお願いします。データの最初のアップロード時と同様の審査を行った上で公開します。その際は論文自体の記載事項の修正も必要となるため、その作業料を著者にご負担いただきます。作業料については、別途ご連絡します。

## 11. その他

ご意見、ご不明な点などがありましたら、日林誌編集委員会 J-STAGE Data 担当 (jjfs@capj.or.jp) 宛にお知らせください。

2021年3月25日制定  
2021年6月1日改定  
2021年7月5日改定  
2021年7月12日改定  
2021年8月10日改定  
2021年8月26日改定  
2021年9月28日改定  
2021年11月11日改定  
2023年4月14日改定  
2023年12月4日改定